

R-18

部隊全滅

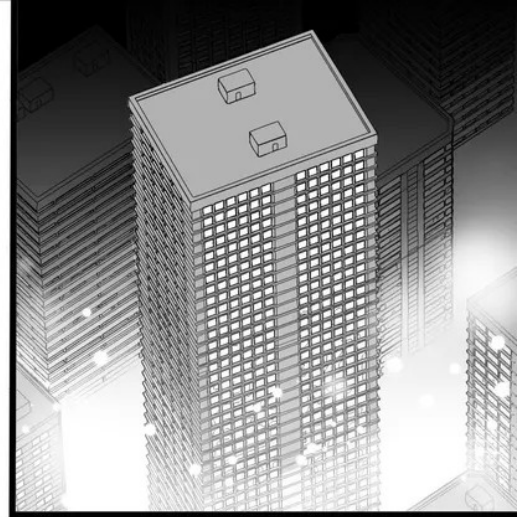
とある精鋭
完全メス隊



ひなえろん

もう…焦らないで
社長さん

時間はたっぷりあるんだから♡



は…早く
抱かせてくれ…



ワシはもう
限界じゃあ…っ！





夜明けまで…二人の
時間を楽しませよう♡

ふ…ふっ…

状況は？

ふおおおっ!!

ターゲットは
確保した

任務完了だ

外にいた護衛には
眠ってもらってるけど…
どうする？

後は私たちが何とかする
ユヅキ…お前はそこから
退避しろ

了解
♥

先輩！退路確保
しました！



なんだ意外と
早いじゃないか

ご苦労さま
相棒くん

まさか私を心配して
くれていたのかな？

君は私があんなやつに
襲われてしまうとも
思ったのかい？

え？ いや…そのっ

……

ん？

ふふっ
いったい何を想像
してたのかな？

か…からかわないで
ください！

社会に潜む悪を裁く
最強のエリート女性精鋭部隊
「KIRISAME」

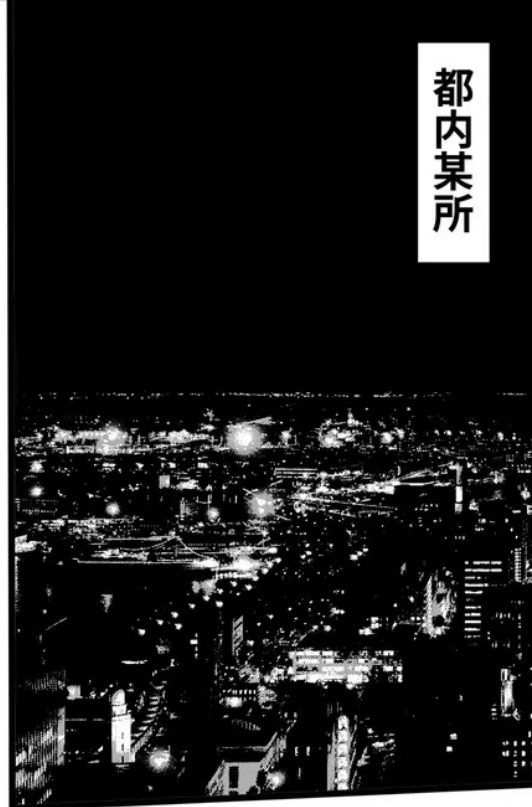
ユヅキ先輩はその構成員の一人

いつも不敵な笑みを浮かべながら
困難な任務も次々とこなす
隠密捜査のエキスパートだ

こんなふうにいるのも俺をからかう
気さくな人に見えるけど
常に冷静で非情な判断も下す

ついた異名は
ひょうけつめひょう
『氷血の女豹』





人身売買組織のトップザイルが
都内のホテルで開催するパーティーに
あらわれる情報を掴んだ

次にいつシッポを出すか
わからん相手だ
ここで確実に捕まえない



作戦を説明する



「KIRISAME」の指令室は
一定期間ごとに都内を転々とし
その所在は敵に知られることはない
高い機密性を有している

構成員はすべて
高い知能と戦闘能力を
兼ね備えた精鋭たちだ

構成員:ハクメ

構成員:コクメ

隊長:ボタン

俺はそんな彼女たちに
憧れて支援オペレーターになった

要するにハニートラップか
私^{いつもどおり}がまずパーティーに乗り込み
ターゲットに会えば良いのだな

では他の皆は不測の事態に
備えて待機してしてくれ

ま…待ってください！
一人で接触するのはあまりにも
危険ではないでしょうか!?

今回は闇社会の大物！
警戒だって十分にしているはず…っ！

だからこそだよ
相棒くん

私一人だけの方が
相手の懐^{ふところ}に入りやすいだろ？

私たち女は
男を「狩る」側の人間

夜の「性の舞台」は
私たち女の独壇場だ

KIRISAMEはそうやって
男をあざむき捕えてきたんだよ

口ごたえするな
新人才ペレーター

お前はユヅキがターゲットに
接触するまで私たちと待機だ

作戦の失敗は許されません
潜入捜査は経験豊富な
ユヅキさんに任せるのがベストです

くれぐれも足を
引っ張るなよ

わ…
わかりました…

力不足の
自分にこの場での
発言権は無い…





同ホテルの待機部屋

先輩は無事
ターゲットと接触
できたみたいだ

監視モニタ

おい新人

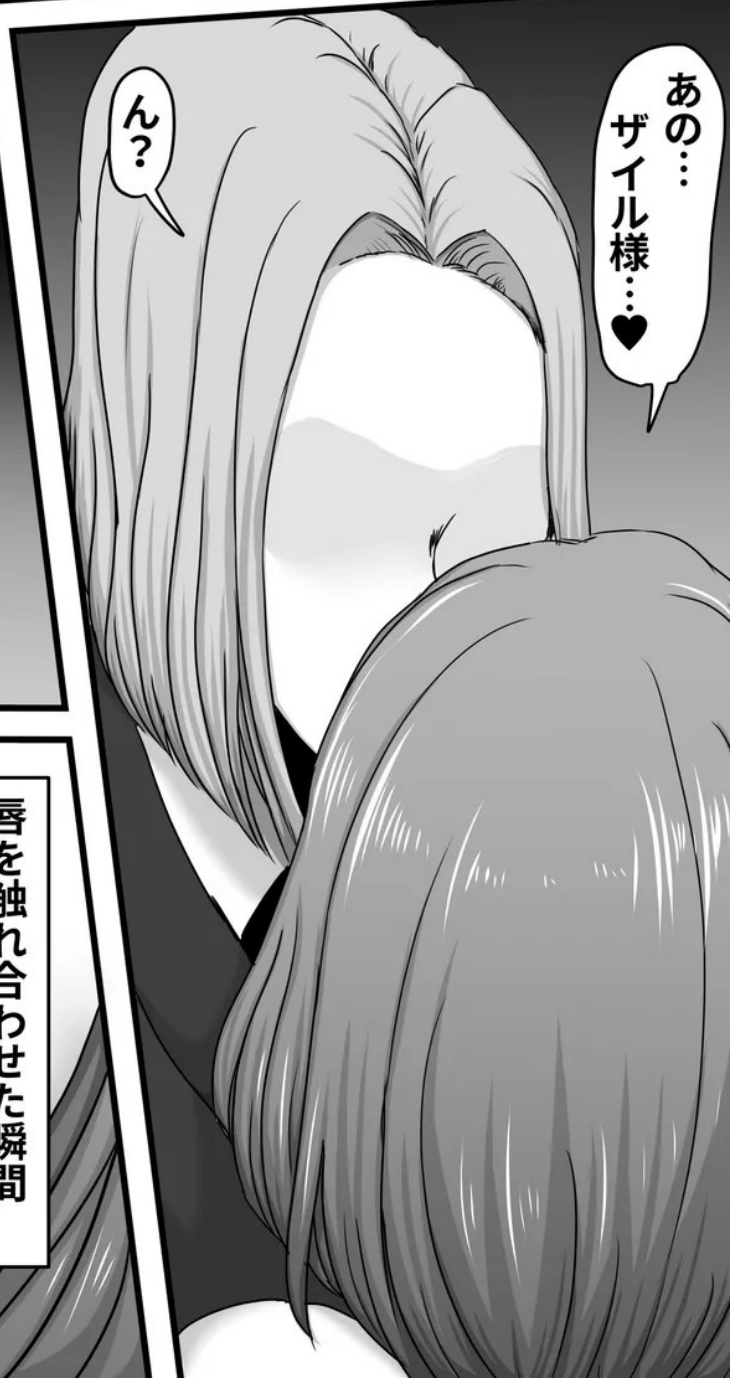
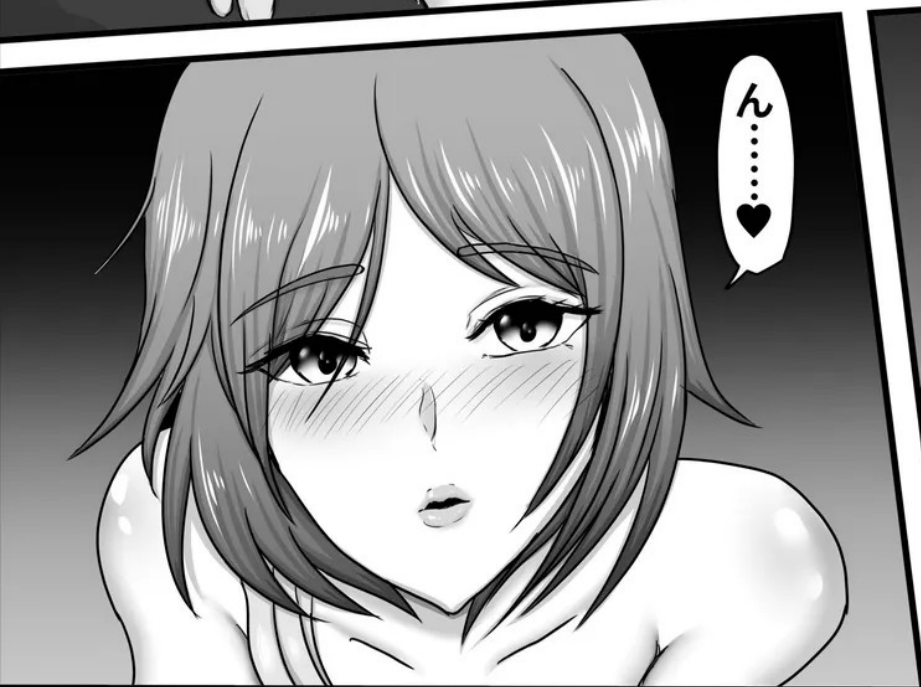
私たちは
見回りに行ってくる

お前は本部に帰っている
後は私たちが何とかする

下手を打って捕まるなよ
私たちに迷惑だけは
かけないでくれ

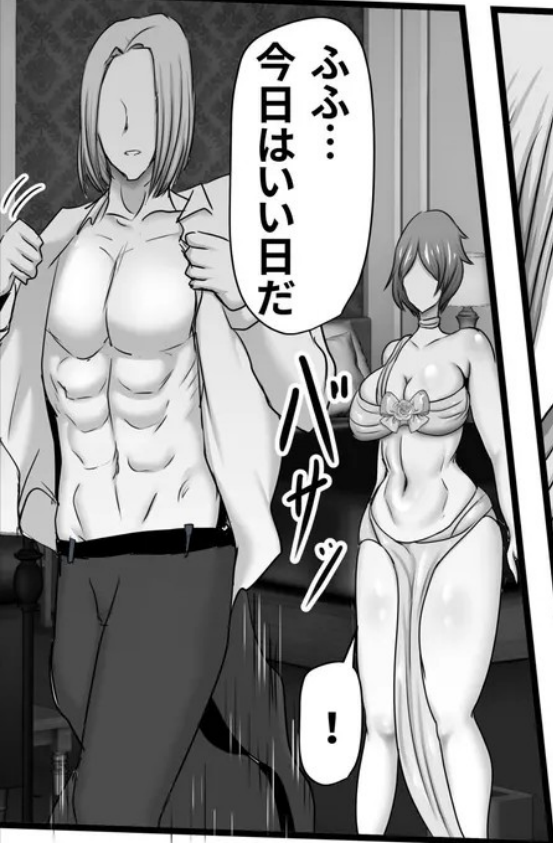
俺に出来ることは
ここまでか……

無事…作戦が
成功することを祈ろう





どんな人間も
この毒には抗えない



ふふ…
今日はいいい日だ

ハザン

!



わずか数秒で
四肢の自由を
奪い取る

1/2
70
8



秘密組織 KIRISAME
多くの同胞を消し去った
我々の宿敵

やっとお前たちを
始末できるのだからな

私の正体に
気付いていた…!?

いったい
いつから…!?

まさか
作戦がバレていた…!?
まずい…っ!



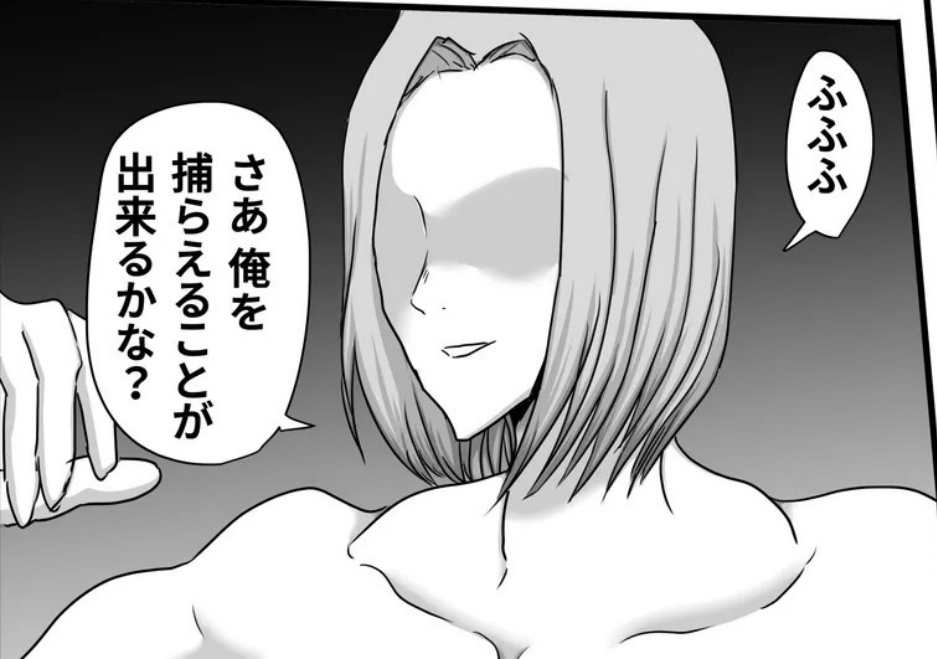


なかなかいい蹴りだが
軽いな

これでは
俺を倒せんぞ？



コイツ…
私の全力の
一撃を…



ふふふ

さあ俺を
捕らえることが
出来るかな？



速い…っ

グッ

この男…
相当な手練れだ

毒も何故か
効いていない

グッ
グッ

殺しはしない！

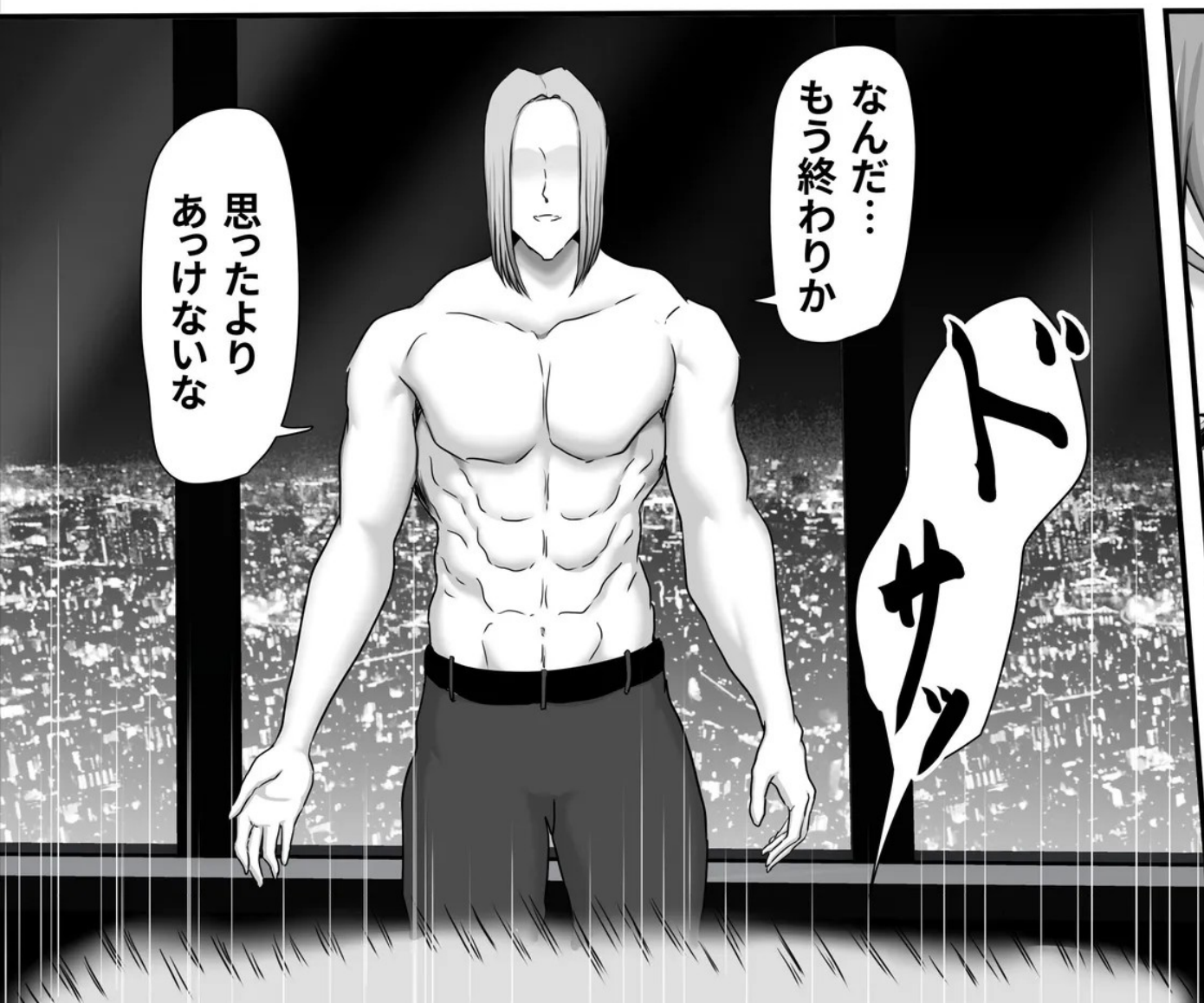
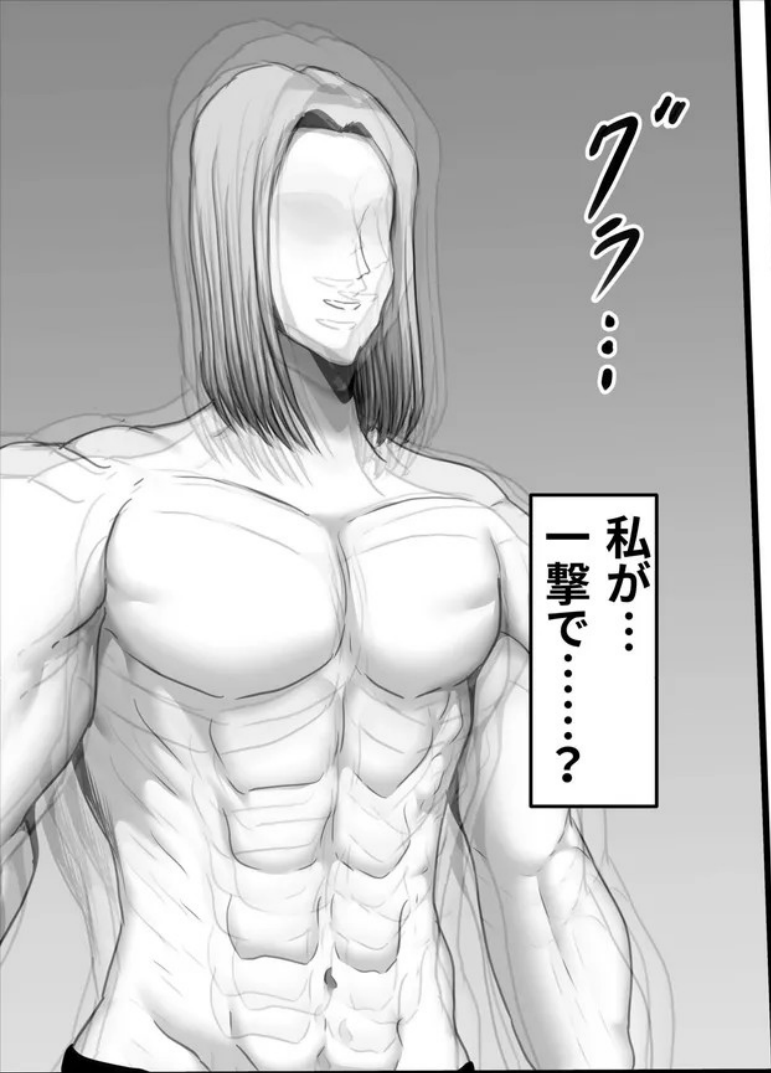
致命傷は避け
まずは無力化する！

グッ
グッ

！！

ト

グッ



夜はまだまだ続くんだ

じっくり

楽しませてもらうぞ

ひょうけつめひょう
『氷血の女豹』よ





うっ

アグッ

グググ



まあ…
もう少し様子を見ようか

んっ

グググ

くっ

グググ



ユヅキから
連絡が来ないな…

まだ確保
出来ていない…？



うっ

グググ

ブルン

グググ

どうだ？
敵の男に犯される気分は？
使い込まれてると
思っていたが
なかなか締めりのいい
綺麗なマンコじゃないか

グググ

グググ

ブルン

んっ

女を自分たちの欲望の
道具としか思っていない……

ほらもつと
歪んだ表情を
見せてくれ

おじっ!

私の一番嫌いなタイプ人間だ

フ
フ
フ

悔しそうな
顔をしているな

ハア

ハ
ア

絶対に許さない…

おっ！

70

1. 1. 1.

ハ
キ
ニ
シ

んっ！

く？！

7

な：
なんなのコレ……



たくっ…肉便器の分際で
生意気に睨みつけ
やがってよお

教育が必要だな

よっと

はっ

あっ

グググ

グググ

グググ



身体が反応してしまう…っ

あんっ!!

ググ

ビッ

0

ああっ!

あっ!!

こんな暴力的なセックスで
私は感じて…!?

自然に声が出てしまう…
男を悦ばせる甘い嬌声が…っ

いい声出すようになったじゃねえか

あんっ！

女は男に媚び
へつらうように
喘いでりやいいんだよ

あんっ

また…女を
見下して…
絶対に許さない…

あああっ！！



私…今…
 イった…!?

あんっ!?

まさか犯罪組織を
捕まえる女スパイが
マゾメスだったとはなw

あんっ!!

あつ……！

私がこんなやつに…
手も足も出ず…
イカされるなんて…っ！

やめっ…

あつ！

ハ
ア

ハア

ほらいけっ イけっ
変態マゾ女w

おおっ!!





おい まだ
くたばんなよ

そんな射精されたばかりで…
敏感になつてゐるのに…



あつ…

ハア…

ハア…

ああつ…

これ以上…我慢できないっ



めっちゃ声
濁ってるじゃん
なっさけねえなw

あああつ!!

あつ!!

ギィ…

ああつ!!

グググ…

グ
グ
グ

ズ
ズ
ズ

ヌ
ヌ
ヌ

ブル
ブル

ブル
ブル

ヘッ
ヘッ
ヘッ

おー首絞めると
マンコ締まるわ

あっ!!

やっぱ命の危機感じると
生殖本能刺激されるんだな

あんっ!

おらもつとマンコ締めて
男を悦ばせろ

おおっ!!

ド

キゅ♡
♡♡♡♡

キゅ♡
♡♡♡♡

何で...?
だんだんと
快感が深く...
増していったる...

ハア...

ハア...

女としての本能を
刺激されてる...?

あっ!!

あんっ!!

ズクズク

私はこの男に
負けたがっている...?

ズグズグ

ふぐうっ!!

ありえない...
こんな
最低な男に...

おもしろw
無様すぎだろコイツw

見下されてるのに...
女としての尊厳を
踏みにじられてるのに...

ズクズク

グググ...

んぐっ!!

シメホジ

ググッ

おー 耐えてるW
耐えてるW



あつ

もう終わりか？
『氷血の女豹』

あつ

あつ

あつ

ぐっ...

惨めなものだ
敵の男の精液を垂れ流して
悶えることしか出来ないとは...



ヌチャ...

フチャ...

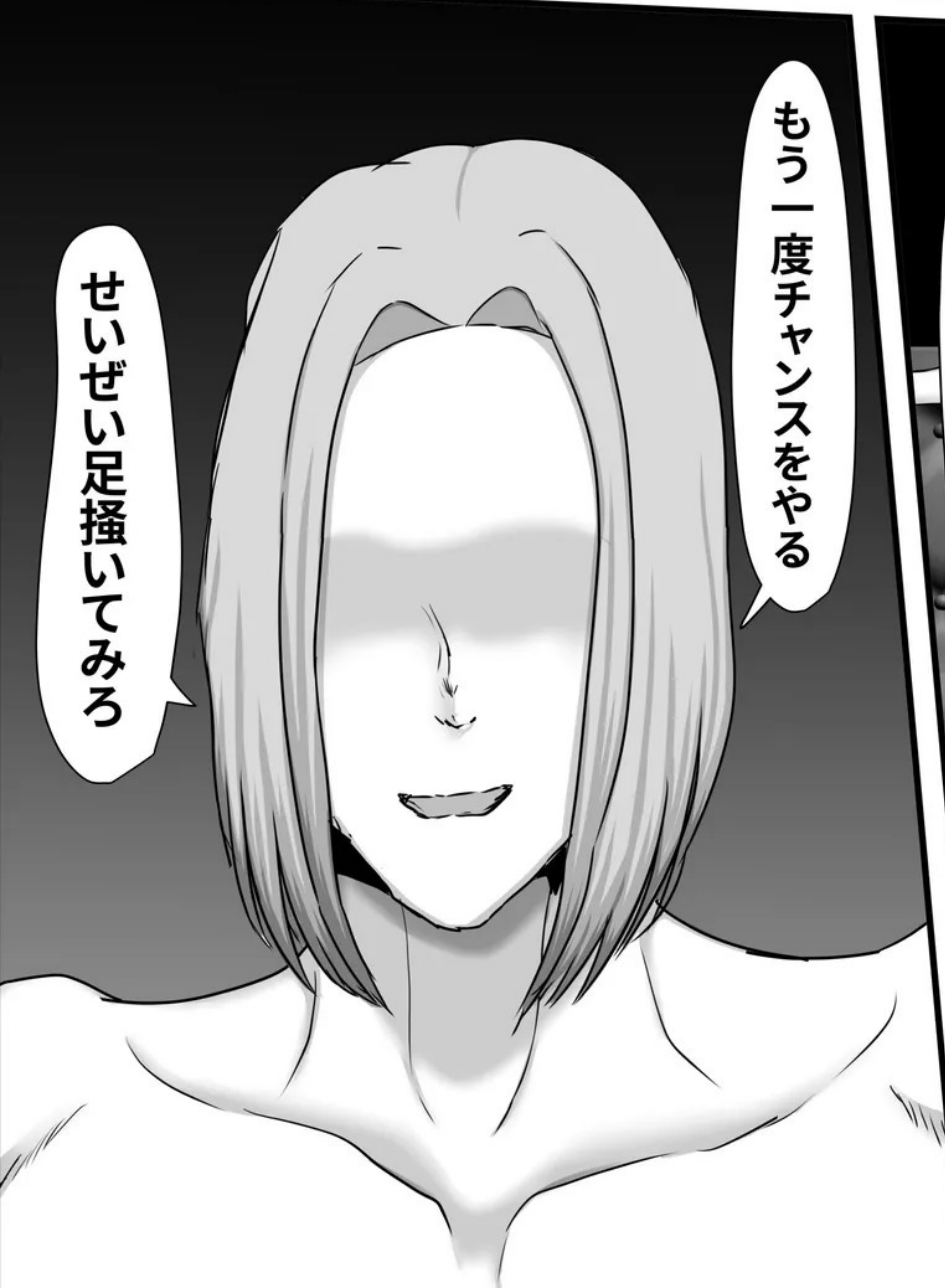
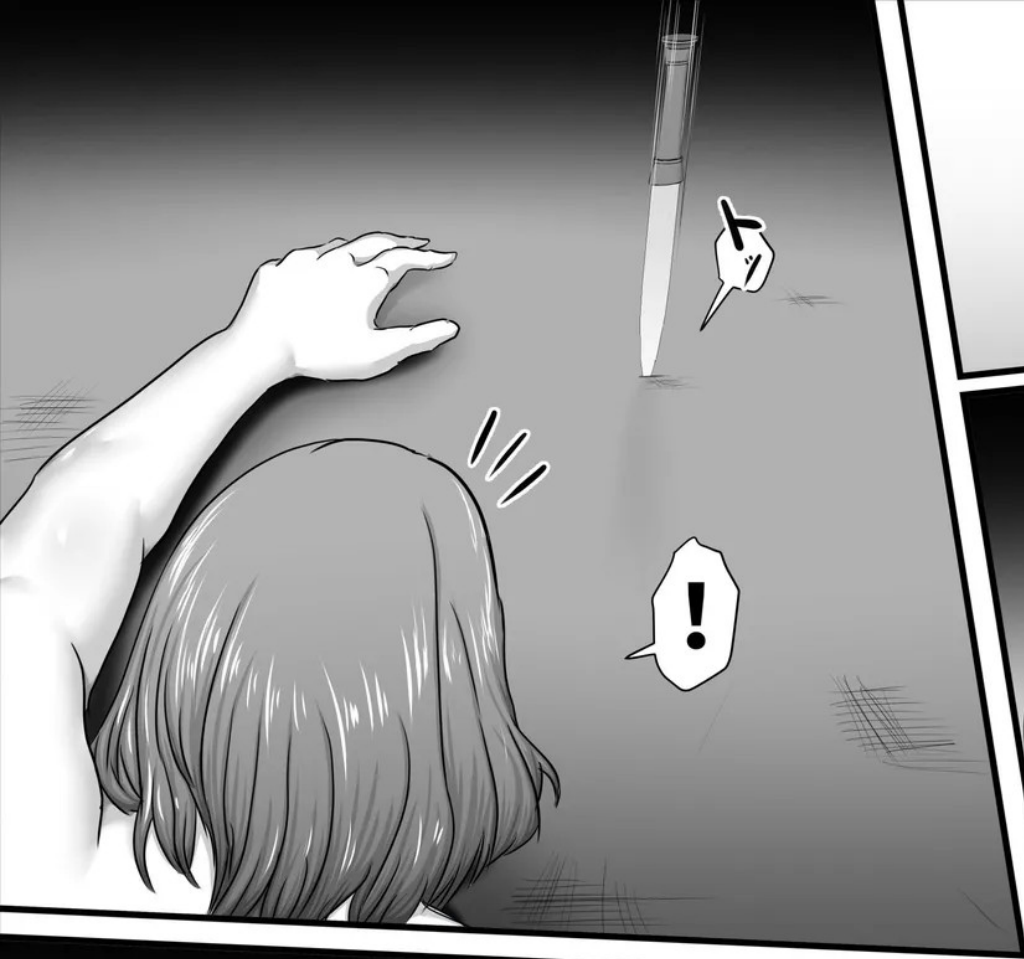
グチャア...

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ



少しは意地を
見せてくれよ

フッ...

コイツ...

どれだけ私を...女を...
見下し馬鹿にするの...

絶対に許さないっ!!

でも.....

私は武器をもっていてさえ
丸腰のこの男に勝てない...っ

一度戦っただけで
分かってしまった...

この男にもう一度
挑んだら.....

死

どうにかしないと…
何か他に手段は…

ㄚ?!

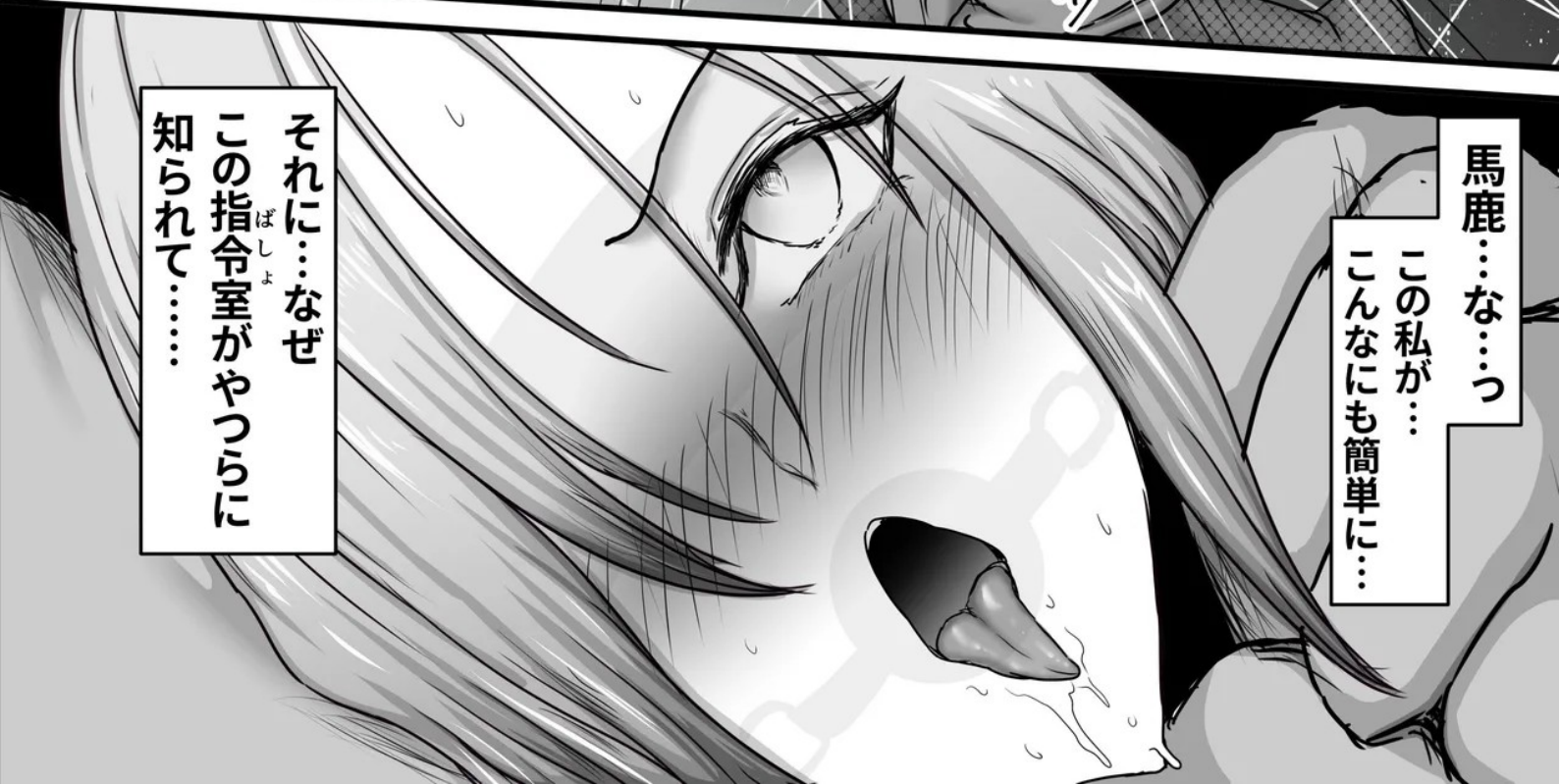
ハクメとコクメと私の
3人がかりなら…

さて
そろそろかな?

もう向こうもネズミを
捕まえた頃だろう

!?

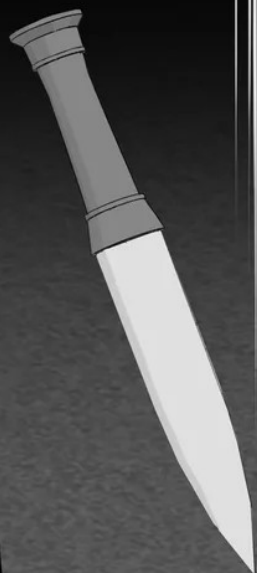
な…
何を言って…



あ…はは…

そっか…強いんだ…

一人ひとりが私たちより…
完全に上回られている…



スパイごっこも
そろそろ終わりかな

さあ 俺たちも
やろうぜ



人は圧倒的な力の差を見せつけられた時
恐怖に吞まれ冷静さを失う

私たちの…負けだ…
命だけはどうか
助けてくれ…

な…
何でもする…

私たちは無力だった…
そして…想像以上に脆い
自分の心の弱さに気付かされた



次にいつシッポを出すかわからん相手だ

ここで確実に捕まえたい

作戦を説明する

そん…な…

私たちの作戦は筒抜けだった……

力だけじゃなくて知略までも完全に上回っていた…

最初から勝ち目なんてなかったんだ

ああつ

ああああつ!!

あつ!!

間抜けが…
馬鹿の一つ覚えみたいにハニトラかましやがって…
こんな罠見抜けないとでも思ってたのか?



しっかり格の違いって
やつを理解させて
やるからな



メスごときが
俺たちに勝てるわけ
ねエだろ



もう…理解している…
私たち…は…愚かだった…

プライドも
ズタボロにされて…
完全に…敗北した…

格上のオスの精子を…
この脆弱なメスに
流し込んで…くれ…

んんんっ!!

あぁっ!!

あんっ!!

敬語を使え

「精子ください」

…だろ？

言葉に気を付けろ
馬鹿メスが

私たち女は
男を“狩る”側の人間

夜の“性の舞台”は
私たち女の独壇場だ

KIRISAMEはそうやって
男をあざむき捕えてきたんだよ

申し訳ござい
ま…せ…っ♡

精子…
くだひやつ…い…っ♡





んぐうつ

オー
イキマシタネ？
サムライガール！

ミーに負ケタガツテ
マスネー！

ちがうつ
これは…!!

やめっ…

チュル

チュル



妹と比べて
お姉ちゃんの方は
大人しくて
利口だねえW

んんっ♡

んんっ♡

んんっ♡

アキッ

ス
ク
ワッ

ス
ク
ワッ

すぐに負け認めて
犯されてくれるんだもん

あっ そっか♪

ああっ♡

頭いいから
抵抗しても無駄だつてすぐに
わかつちやっただんだW

ほら舌絡めろ

ジュルッ

スッスッ♡

ごほうびに
俺好みに調教して
やつからな

ビッ

ビッ

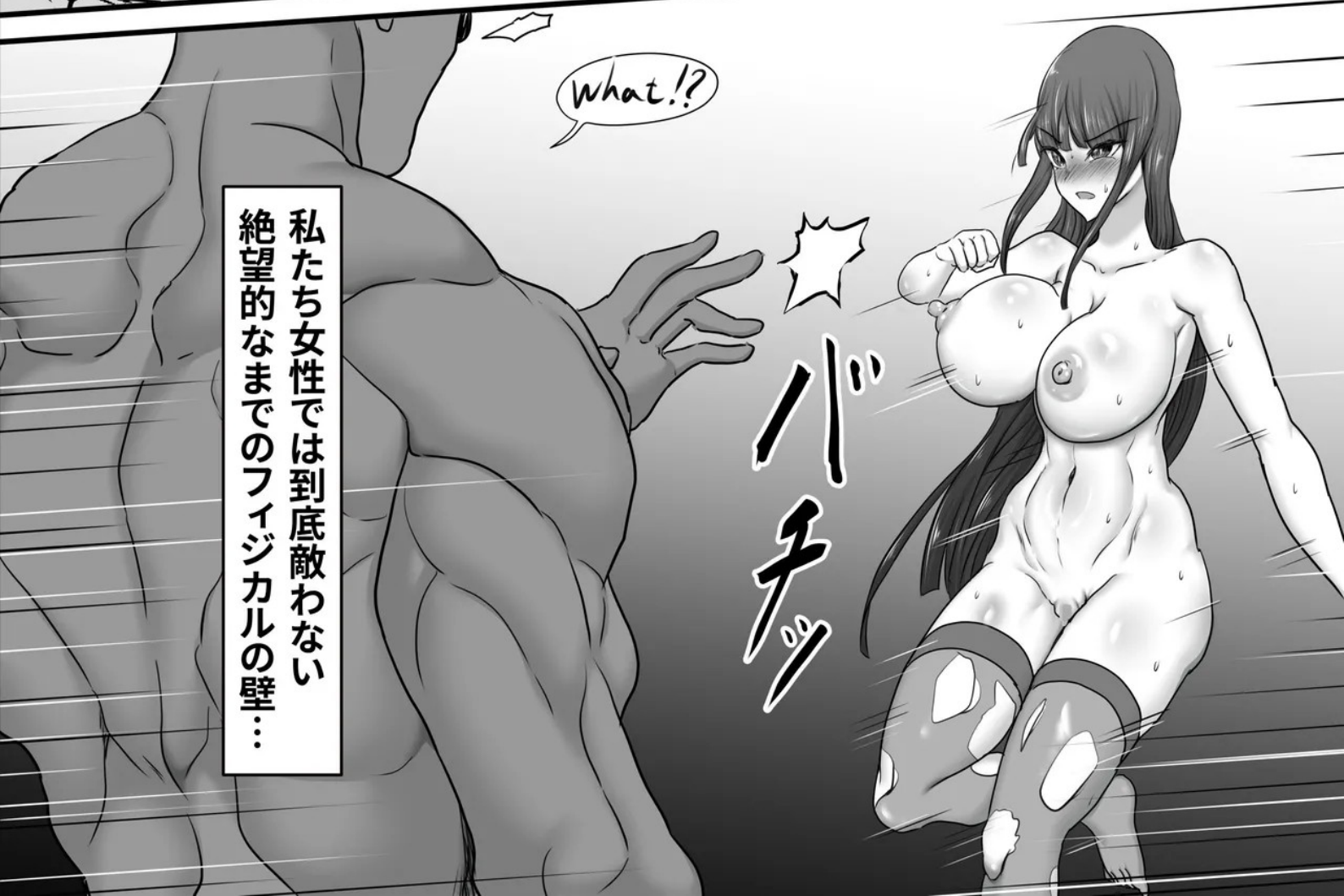
パチ
パチ
パチ







その圧倒的な肉体差に
打ちのめされる



what!?

バチッ

私たち女性では到底敵わない
絶望的なまでのフィジカルの壁...

何度も屈強チンポに
串刺しにされてその形状を
身体に記憶させられて



プライドも尊厳も
ぶち壊されて
従順なメスに生まれ
変わらせられていく





みんな…
負けてしまった……

もっとハメて…♥

チンポ…♥

チンポ…♥

負けさせて…♥



精鋭スパイ部隊
『KIRISAME』

鍛錬を積んだ…
選り抜かれた女たちが…
こんなにもあっけなく……

自慢の知略でも勝てなくて
戦闘でも上を抜かれて
本当お前は情けない奴だ

クォーツ

あああつ♡

ああ♡そんなっ…

こんなことが……っ

グ
チ
カ
ッ

喘ぐことしかできないのか？
指揮官が無能だと部下も大変だな

ク
オ
ン

あああつ!!

77

ここにいない夫に
助けを求めるとは……

ここにいない夫に
助けを求めるとは…
無様なものだ

所詮メスだと
見下されても…
無様に犯されても

私たちは
“狩られる”側だったのだ

もう……
悔しくはない……

でも…これが正解だつて…
これが女という生物の
本来の姿なんだつて…

私たちは心から悦んでいる





屈強なオス様の種子に
孕まされるメスで
よかったと――



本部に戻った俺は
先輩たちからの連絡を
待ち続けた

しかし
いくら待っても
連絡はなかった

やがて襲撃された形跡のある
KIRISAMEの指令室を
本部の隊員が発見した

先輩たちは全員失踪——

徐々に明らかになる事実を
つなぎ合わせるうちに
任務は失敗したのだと悟った



部隊壊滅から数日後…
先輩たちの行方は
わからないままだった……



未登録の信号を受信！
身元不明！

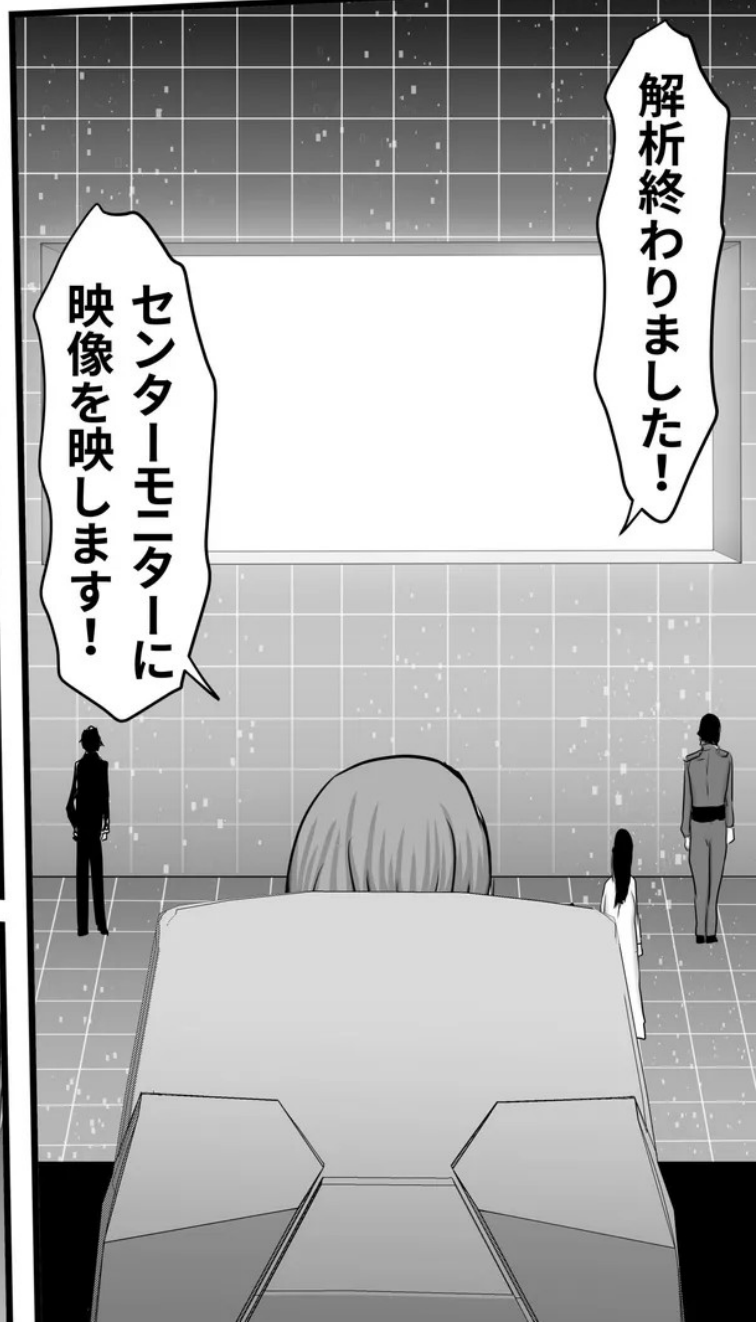
このコード…
おかしい…！

即時解析をします！



解析終わりました！

センターモニターに
映像を映します！



相棒くん……
すま……ない……





私たちは…みんな
屈強チンポに
ぶちのめされて
負けてしまった…

屈強なお스様には…
私たち…メスごときでは
勝てなかったんだ…



これが君が
あこがれていた
私たち女の
本来の姿だよ…



でも感謝してるんだ…
彼らは私たちに…
女の悦びを心の底から
理解させてくれた…

あれがウワサの…

ザフ…

まさかもう
あそこまで
てなづけているとは…
双鞭のボタンまで…

ザフ…

すっかり
メス顔になって
飼いならされ
ちまってまあ…

敵に子種仕込まれたのに
ボテ腹晒して幸せそうに
笑っておるわ

やはり所詮
雌ですな…

今も先輩たちの
所在さえわかっていない



■作者 ひなえろん
■X @hinaeron
■Mail hinaeron@gmail.com

あとがき

この度はご購入いただき本当にありがとうございました。
部隊モノは昔からやってみたいなと思っていたのですが、
あまりアイデア浮かばずやってなかった題材でした。

いつだったか、作戦室にいる指揮官が敵に犯されるシーンが思い浮かびました。
隊員が戦場で苦戦する中、頼れる指揮官は既に敵の手に落ちていて
それを知った隊員は戦意喪失するような・・・。
そこからスルスルと物語を組み立てられました。

複数キャラがいて大変でしたが、色々描きたいものは描けたので楽しかったです。
皆さんも少しでも楽しんで頂けたなら幸いです。



ユヅキ

いつも不敵な笑みを浮かべながら
困難な任務も次々とこなす
隠密捜査のエキスパート。

メイン武器は小回りの効くナイフと短銃。
「女」という特徴を武器にすることを
ためらわずハニートラップを仕掛けて
標的(ターゲット)に接近する。

その美貌、明晰な頭脳、高い身体能力で
何人もの男を欺き捕えてきた。
一部からは「氷血の女豹」と呼ばれ
恐れられている。

女として侮られることが大嫌い。
もともとは格闘家として名を馳せていた。
しかし女だからと見下し
甘くかかってくる男たちの態度に
反吐が出る思いだった。

ボタンのスカウトで
KIRISAMEの存在を知る。
女を欲望の道具のように扱う連中が
許せずこの組織に加わった。



ハクメ

コクメの姉。
妹のコクメとは違い感情を表に出すことは少ない。
無口でクールな雰囲気を持つ。
武器は日本刀。

的確な状況把握と現場判断で
いくつもの困難な任務も成功させてきた。

身体を動かすことよりも頭で
考えることを好み
どんな時も取り乱すことなく
現場では冷静な判断をする。

指揮官のボタンからは深く信頼されている。

しかし粗暴な妹の無茶な行動には
内心戸惑っていて常に気にかけている。



コクメ

ハクメの妹。
姉のハクメと違い直情的な性格。
武器は日本刀。

近接戦闘においては抜群の実力を誇り、
部隊内でもその身軽さとタフさは随一。
訓練では指揮官のボタンも
手を焼くほどの実力者。

頭で考えることよりも身体を動かすことを好む。
思ったことをハッキリというタイプで、
仲間との喧嘩や軋轢を生むことが度々ある。

知的で優秀な姉のことが大好き。
姉を心から尊敬しており、二人きりの時は
「お姉ちゃん」と言って甘えている。



ボタン

少数精鋭部隊「KIRISAME」の隊長。
ユヅキ、ハクメ、コクメの3人を
一から鍛え上げた師。

3人の特性を理解し的確な指揮を執る。
かつては現場で戦っていたが
結婚を機に第一線を退いている。
現在は指令室から全体を指揮、
数々の作戦を成功に導いてきた。

戦闘能力は衰えておらず
部隊一の実力の持ち主。
2本の鞭(ムチ)を自在に使う
戦闘スタイルで
複数の敵に囲まれた状況でも
一瞬の隙すら与えない。

高速で振るわれる鞭は攻守自在で
銃弾すら弾き返し、敵を圧倒する。

そうべん

闇社会では「双鞭のボタン」と呼ばれ
恐れられた。

性格はもともとドSで容赦のない言動が
目立ったが、結婚して家庭を持ったことで
今は多少丸くなっている。

